

フロント連携ワーキンググループ
成果報告書
(2014年度上期)
第一回OpenSocialハッカソン実施報告

～付録「できる！小規模ハッカソン開催マニュアル」～

2014年9月30日

クラウド・ビジネス・アライアンス×ニッポンクラウドワーキンググループ
フロント連携ワーキンググループ

(目次)

1 . はじめに

2 . ワーキンググループ企業

日立ソリューションズ東日本株式会社

株式会社C I J

株式会社プロキューブ

有限会社ディアイピィ

株式会社ビーコンIT

ネットワンシステムズ株式会社

3 . ハッカソン開催記(2014年夏)

3 - 1 . 概要

3 - 2 . 企画・準備

3 - 3 . 当日

4 . 考察(反省)

付録

参考文献

1. はじめに

フロント連携ワーキンググループは、「クラウドAPIとクラウド連携の普及」と「OpenSocialガジェットの認知度向上」を目的として、「OpenSocial APIを使ったクラウドアプリ作成」をテーマとしたハッカソンを開催することにいたしました。

フロント連携ワーキンググループは、クラウド・ビジネス・アライアンス（CBA [1]）とニッポンクラウドワーキンググループ [2] の合同の研究グループです。2009年のCBA設立当時から、SaaSを筆頭としたクラウドシステムをユーザ目線で使いこなすために、ユーザに見えない「縁の下の力持ち」として利便性を提供する技術を研究開発してきました。2012年度からは、ニッポンクラウドワーキンググループとも連携し、合同で活動を続けています。

2. ワーキンググループ企業

ハッカソンは、以下のフロント連携ワーキンググループ参加企業で、開催しました。

<ワーキンググループ参加企業：ハッカソン会場提供>

日立ソリューションズ東日本株式会社

日立ソリューションズ東日本は総合IT企業として様々な分野でソリューションを提供しています。東日本地域に密着した事業に加え、日本全国、世界へとビジネスの範囲を広げ、お客様の分野も製造、流通、公共、科学技術、金融、社会インフラなど多岐に渡ります。主なソリューションとして以下があります。

- ・ 生産販売在庫調整、可視化ソリューションSynCAS PSI
- ・ プロジェクト管理システムSynViz/S2
- ・ ドキュメント管理システムSynViz/DM
- ・ 情報共有サービスOnSchedule on TWX21
- ・ テキストマイニングシステム CoreExplorer

<ワーキンググループ参加企業>

株式会社C I J

株式会社CIJは、「情報技術で人と社会にやさしい未来を創造します」をコンセプトに、確かな技術力とマネジメント力でお客様のご要望を実現する企業です。スマートフォンやタブレットを安心安全に利用するための無線侵入防止システムやタブレット端末を使用した会議システム等をご提供しています。

株式会社プロキューブ

株式会社プロキューブは、SOA、ESB、XSL、SAMLなどをキーワードとして、XMLをベースとしたソリューションの提供を行っております。XMLをベースとすることにより、モジュールやシステム間の結合度を低くし、システムの拡張性・柔軟性・スケーラビリティを確保しています。

具体的なソリューションとして、以下のようなものがあります。

- ・認証基盤
- ・統合ディレクトリ
- ・ネットワーク認証管理
- ・ESB
- ・大学情報データベース

とくに大学向けの統合認証基盤は NetSoarer(ネットソアラとお読みください)シリーズとして、SAML認証基盤、統合ディレクトリ、RADIUSサーバ、DHCPサーバを製品として提供しています。

有限会社ディアイピィ

ディアイピィは、設立以来培ってきたオープンソースWebアプリケーションに関するノウハウを活かして、コストパフォーマンスの高いシステム導入、運用を支援することを目指します。

- ・オンラインアンケート LimeSurvey

- ・ メールアーカイブ MailArchiva
- ・ メール問い合わせ管理 osTicket
- ・ メール配信 PHPList

などをはじめとして、日本では普及していない海外で評判の高いソリューションも積極的に取り入れております。

昨今のクラウドコンピューティングとの高いシナジーを活かしたクラウドインテグレーションにも対応し、オープンソースの特性を活かしカスタマイズしたお客様だけのソリューションを最適な形でご提案して参ります。

株式会社ピーコンIT

Unify IT をテーマに、様々なシステムの連携のソリューションを提供しています。今回CBAのフロントエンド連携技術ワーキンググループでは幹事企業として、オープンソースの企業情報ポータルであるinfoScoopを提供しております。infoScoopはOpenSocial Gadgetに対応した連携の仕組みです。ソースコードはLGPLとして公開されています。 <http://www.infoscoop.org/>

ネットワンシステムズ株式会社

ネットワンシステムズ株式会社は、常に国内外の最先端技術動向を見極め、ネットワーク領域とプラットフォーム領域において、自ら検証した製品に高品質な技術 サービスを附加することによって、お客様のビジネス成功を目的として、生産性を高め、簡便に利活用できるIT基盤ならびにコミュニケーションシステムを提供しています。当該ワーキンググループへは、事務局として参加しております。

3. ハッカソン開催記（2014年夏）

3 - 1. 概要

以下の、募集要項で、2014年夏のハッカソンを開催しました。

各位

平成26年4月10日

クラウド・ビジネス・アライアンス(CBA)
ニッポンクラウドワーキンググループ(NCWG)
合同 フロント連携ワーキンググループ
代表 戊亥 稔

「OpenSocialガジェットハッカソン」開催のご案内

クラウドのサービス連携の認知度向上を目的とした「OpenSocialガジェットハッカソン-2014夏」を以下のとおり開催いたします。皆様奮ってご参加くださるようご案内いたします。

開催要項

【開催日時】：平成26年6月9日 9:45より(受付開始9:30)

【共催】：クラウド・ビジネス・アライアンス(CBA)、ニッポンクラウドワーキンググループ(NCWG)

【協賛】：infoScoop Opensource Club Japan(OCJ)

【賞品】：2万円相当の食事券、Amazon商品券等

【場所】：日立ソリューションズ東日本 東京事業所（川崎駅すぐ）
<http://www.hitachi-solutions-east.co.jp/company/corporate/access/>

【テーマ】：「OpenSocialガジェットの認知度向上」を目的として、「OpenSocial APIを使ったクラウドアプリ作成」をテーマとしたハッカソンを開催する。

【対象・参加者条件】：HTML5/Javascript/API経験者

【参加要項】

- ・ 1チーム2名～3名とし、チーム単位で成果物を作成します。

- ・ 成果物は、ガジェットコンテナ（infoScoop v3.4の環境を提供）で動作するものとします。

審査員がプレゼン発表、デモ、ソースコードなどを見て審査し、もっとも優秀なチームに最優秀賞を

授与します。

・ 既存のコード（製品、オープンソースを問わない）を使用したり、当日までに下ごしらえしたコードを

用意したりすることはOKですが、審査の対象は当日コーディングした部分だけになりますので、当

日コーディングした部分がわかるようにコーディングを行い、プレゼンではどの部分を当日コーディ

ングしたかがわかるように発表してください。

【申し込み方法】：以下のフォームに入力して uke@example.jp にメールでお申込みください。

チーム名：[]

代表者氏名：[お名前/社名]

チームメンバー（代表者除く）：[お名前/社名]

意気込み：[]

日程

09:00 会場設営開始
09:00-0930
搬入セッティング
09:30
受付開始
09:45
主催者挨拶・オリエンテーリング
10:15-1700
コーディング(昼食含む)
17:00-1800
プレゼンテーション 5チーム×10分
18:00-1815
審査・休憩
18:15
審査結果発表
19:30
終了

* 昼食・休憩時間はチーム毎にお取りください。
* 終了後、簡単な懇親会を行う予定です。情報交換の場としてご参加ください。
* お問合せは担当の○○にメールでお願いします。
メールアドレス : uke@example.jp
以上、皆様のお申し込みをお待ちしております！

3 - 2 . 企画・準備

企画・準備の履歴

時期	企画関連	参加者関連	環境関連
1月	メンバによる思いつき (WGのFB*)		
2月	計画β案 (WGの2月MTG*)		
3月	・ 日程決定(会場決定) ・ 進行役割表 (WGの3月MTG)		
4月 上旬	募集要項文決定 (WGのFB)	募集開始 CBA・NCWG、Webと メール (4/10)	ハードウェアとインターネット接続環境の 手配

5月 上旬			ハードウェア・OS・ミドルウェア設定
5月 下旬		・ 参加者向け案内・質問対応 ・ sshキーあつめる	sshキーの設定
6月		ハッカソン開催(6/9)	

* FB = Facebookのグループ、MTG=ミーティング

3 - 3 . 当日

2014/6/9(月)ハッカソン当日。

- ・ 会場準備
- ・ 開催

IOCJニュースの記事 [6] より

2014年6月9日（月）にクラウド・ビジネス・アライアンス(CBA)とニッポンクラウドワーキンググループ(NCWG)共催で

「OpenSocialガジェットハッカソン- 2014夏」が開催されました！ IOCJも協賛として参加させていただきましたので、会場の様子をご紹介です。

場所は日立ソリューションズ東日本様の東京事業所（川崎駅近く）の会議室をお借りしました。

部屋のサイズがとてもちょうどよく、快適に過ごすことができました。

当日はチームごとに分かれてガジェットの作成と発表を行い競い合いました。

作成中は、和気あいあいとしつつも各チーム真剣な様子。

(写真省略)

発表されたガジェットはGoogleMapやWebSocket、WebRTCなどを利用した非常に興味深いものでした。

チーム発表では、それぞれのチームがガジェットの特性とデモを織り交ぜてアピール合戦！

(写真省略)

見事受賞したチームは「チーム東北 + NCWG」様、「アーク情報システム」様です！

チーム東北 + NCWG様が作成したのは「みんなのトリップナビ」というガジェットです。

複数の人で旅行に行くときに、目的地とルートを決めることができます。

(写真省略)

アーク情報システム様が作成したのは、飲み会の場所へナビゲートするガジェット。

ストリートビューとも連携し、お店の中にまで入っていくデモには笑いが溢れました。

(写真省略)

作成したガジェットをネタに、この後の懇親会も大いに盛り上がりました。

今後も様々なイベントの企画をしていきたいと思います。お楽しみに！

・ 審査

審査結果・講評

チーム名	ガジェット名	ビジネス性	ソースコードの洗練性	プレゼンの感想	その他	結果
東北 +	トリップナビ	いい感じ	わりといい	プレゼンスライドが用意されている！ 地図なので、ガジェットが辛い？ トークが素晴らしい。 デモにもうひとつひねり欲しい。	皆んなの行きたい場所を回るナビ：自動スクラッチで作った	プロキューブ賞
アーク	飲み会案内	いい感じ	わりといい	スライドあり	道に迷いそう・・・？	infoscoop賞

				デモは滑らかさが欲しい? 機能特性を生かしたデモ。ガジェット連携のデモがよい。 動作説明のプレゼンも欲しかったなあ。	GPXファイルがある前提。 デモは楽しい！	
Bambook	検索くん	頑張れ	完成できてない	背景(ガジェットのメリット)から説明開始が良い。 Node.js 56行でサーバー作った。 凸凹漫談が良い。 声は大きくてよい。視線が泳がない方が良いよ！	一日でスクラッチヘルプがチャットnode.jsサーバーをスクラッチで作った	
Aチーム	テレビ会議ガジェット	ふつう	肝のコードが既存	デモのみなのが残念。 せっかくなのでプレゼンガジェットを使ってプレゼンして欲しかった。 機能は素晴らしいが、ガジェットである意義が見いだせない? 説明はダルい。	html5 web RTCビデオチャットドキュメントガジェットプレゼンガジェット: pdfカーソルが動く	
チームWC	トイレなう	ない	肝のコードが既存	背景説明のネタフリがすてき。 websocketでガジェットに通知 声も大きくネタのストーリー展開もすてき！	トイレの空きがガジェットで分かるwebカメラで監視	楽しいで賞
SSO	Office365ガジェット	将来性はあり	完成できない	スライド準備あり 「やったこと」の整理は有益 システム説明のスライドがあると、「志半ば」がよくわかる。	Office365のオブジェクトをSSOでやりたい 事前準備は大変だったらしい。	

4 . 考察(反省)

さまざまなガジェットのアイデアと実装を見ることができ、おおむね初期の目標を達成したと考えられる。以下に考察を述べる。

- ・あまり、目標や成果にこだわらず、自由に実装できる点がよかつた。ただし、参加者が成果を自社に説明しやすいように、配慮する必要がある。

- ・ 今回は、審査員・基準毎の賞を出したが、1位・2位・3位とした方が良かったのではないか。そのほうが、参加者が自社に説明しやすい。
- ・ 以下の点については、もう少し細かくを決めておいた方がよかつた
 - OpenSocial APIとinfoScoop制限(サポートAPI)の詳細な情報を事前に配布して、当日、利用しようとしていたAPIが使えないというような事態を避ける必要があった
 - 審査の方法について、審査基準・スケジュールを詳細に決めて、公開し、それに対応した成果物を提出してもらうようにすべきであった（例えは「昼までにシステム概要図の絵を1枚提出」）
 - sshの公開鍵の話は、事前に作成準備頂くことを案内に掲示して、申込と同時に収集できる状態にすると各仮想サーバー設定時に迅速に案内することができたと考えられる。
- ・ 参加者からは「複数人で作業することの難しさを感じた」との声があり、このようなチーム活動の教育効果を参加企業にアピールすれば、若い方を参加者として出してもらいやすい。
- ・ 開催曜日の設定について

今回のハッカソンは月曜日の午前中から開始する日程とした。所属団体によっては、週次作業が決まっている時間帯ではあるが、オープンな参加を前提としているため、曜日を特定することは難しい。ただし、準備作業が前日に必要となる場合は、月曜日は避けるのが無難であろう。
- ・ アプリを開発しようとすると、ちょっとしたものでもデータベースが必要になるので、サーバ側に自由に使えるデータベースを用意すべきであった（Odataとかが考えられる）
- ・ 次回の開催にあたっては、参加者企業へ以下のようなメリットをアピールし、社員の参加が容易にできるよう環境を準備する必要がある。

（例）

- アドホックに組まれたチームで活動することにより、眞のリーダーシップを学ぶことができます。
- 時代の主流は OpenSocial ガジェット、HTML5、REST API などフロントエンドプログラミングに変化しつつあります。このパラダイムシフトを実際のプログラミングや他の参加者との意見交換により、ハズズオン（体験学習）します。

付録

できる！小規模ハッカソンマニュアル～infoScoopを使った簡単ハッカソンプラットフォーム

ハッカソン開催一般について、全体の流れ（企画・準備・当日・終了後）は、Googleのハッカソン運営ガイド[4]を、ご参考ください。

infoScoopを使用することで、企画と環境を簡単に準備することができます。

<企画>

- ・ クラウドAPIの簡単な連携
- ・ ビジネスレベルの成果
- ・ Enterpriseならモバイルやタブレットに最適化された画面も提供
- ・ APIは、SaaSからハードウェア(IoT)まで

<環境>

- ・ Chefで簡単に環境が作成可能[5]
- ・ ユーザには、JavascriptとOpenSocialというクラウドのオープンな開発基盤を提供。（できるひとも多い、知らない人も仕様は公開されているため敷居は低い）

無料で気軽に始められるinfoScoop OpenSourceは以下のURLからダウンロードできます。

<https://www.infoscoop.org/ja/>

また、Cloud Enterprise版は以下のBe.Cloudが提供しているAWS Test Driveを利用した無償テスト環境により、お気軽に試していただけます。

<http://www.bsp.jp/products/becloud/testdrive/index.html>

参考文献

[1] クラウド・ビジネス・アライアンス (CBA)

<http://www.cloud-business.jp/>

[2] ニッポンクラウドワーキンググループ (NCWG)

<http://ncwg.jp/>

[3] infoScoop OpenSource Club Japan (IOCJ)

<https://www.infoscoop.org/iocj/>

[4] Googleのハッカソン運営ガイド

<https://sites.google.com/site/devreljp/Home/hackathon-in-a-box/hackathon-guide>

[5] ChefでinfoScoop

http://www.infoscoop.org/blogjp/2014/07/30/chef_infoscoop_recipe/

[6] IOCJニュース 2014/6/17記事

『「OpenSocialガジェットハッカソン – 2014夏」を開催しました！』

<https://www.infoscoop.org/iocj-news/%E3%80%8Copensocial%E3%82%AC%E3%82%B8%E3%82%A7%E3%83%83%E3%83%88%E3%83%8F%E3%83%83%E3%82%AB%E3%82%BD%E3%83%83%B3-2014%E5%A4%8F%E3%80%8D%E3%82%92%E9%96%8B%E5%82%AC%E3%81%97%E3%81%BE%E3%81%97%E3%81%9F/>

--

以上